

平成 15 年 11 月 1 日

「夜中に何回もトイレに行きたくなる」「オシッコの出方がおかしい」と感じることはないですか？

今回は『前立腺肥大症』についてのお話です。

前立腺肥大症とは・・・

前立腺肥大症は高齢の男性によくみられる病気であり、尿道が圧迫されて排尿障害をもたらすことが知られています。40歳頃から男性ホルモン（テストステロン）の分泌が下がり、逆に女性ホルモン（エストロゲン）の分泌量が増加して、性ホルモンの逆転現象がおきてしまいます。その結果、エストロゲンに反応しやすい前立腺が増殖し、肥大します。肥大した前立腺が尿道を圧迫するため排尿障害が起こります。その他に前立腺被膜の弾力性の低下、膀胱収縮力の低下が排尿障害の原因と考えられています。

あくまで判定基準の一つです

症状の進行度

第1期：一日に何度もトイレに行きたくなる、尿失禁などの症状が出てきます。

第2期：尿をした後もすっきりとせず残っているような感じがする（残尿感）、排尿時間の延長などの症状が出てきます。

第3期：自己排尿が難しくなり、尿が絶えず少量ずつ漏れるといった症状が出てきます。体内に老廃物がたまり様々な悪影響が出る腎不全や、また尿流が妨げられるため水腎症へ移行する場合があります。

症状の重症度

0～7点が軽症

8～19点が中等症

20～35点が重症

こんな薬で治療します

ハルナールカプセル、ミニプレス錠など（ α_1 遮断剤）・・・排尿障害を改善します。
プロスタール錠など（抗アンドロゲン剤）・・・前立腺を縮小させます。
エビプロスタット錠など（植物製剤）・・・炎症などを抑える作用があります。
八味地黄丸、牛車腎気丸など（漢方製剤）・・・自覚・他覚症状などを改善します。

薬物療法だけではなく手術によって治療が行われることもあります。

心がけましょう

食物繊維の多い野菜をとって便秘にならないようにしましょう。

運動不足にならないようにしましょう。

入浴などで血行を良くし、身体を冷さないようにしましょう。

塩、コショウ、わさび、からしなど刺激の強い食品は控えましょう。

飲酒はできるだけ控えましょう。

前立腺肥大症になったら・・・

薬の中には急性尿閉を起こすものがあります。他の病院で診療を受ける時は、医師に必ず前立腺肥大症であることを伝えましょう。